

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

株主確定基準日
 ・定時株主総会/期末配当 3月31日
 ・中間配当 9月30日
 ・その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。
 (http://www.kureha.co.jp/ir/koukoku.htm)
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1-2-1
 みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲1-2-1
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

株式に関するお問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)
電話お問い合わせ先		みずほ信託銀行株式会社 全国本支店 みずほインベスターズ証券株式会社 全国本支店
お取扱店	未払い配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱いいたします。	
ご注意	支払明細発行については、「特別口座の場合」の電話お問い合わせ先をご利用ください。 単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合はご連絡ください。	

ホームページのご案内

<http://www.kureha.co.jp/>

当社Webサイトに「個人投資家のみなさまへ」を開設しております。
 身近にあるクレハ製品や業績の概況についてご説明しておりますので、ぜひご覧ください。



「TOPページ」
 ↓
 「投資家情報」
 ↓
 「個人投資家のみなさまへ」
<http://www.kureha.co.jp/ir/personal/index.html>
 からご覧ください。

株式会社 **クレハ**
 KUREHA CORPORATION

KUREHA

証券コード：4023

クレハ レポート
 第98期 期末報告書
 (2010年4月1日～2011年3月31日)

KUREHA REPORT

Advanced Materials



Specialty Chemicals



Specialty Plastics



Construction Related & Others



株式会社 **クレハ**
 KUREHA CORPORATION

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの東日本大震災に被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社第98期期末（2010年4月1日から2011年3月31日まで）の「クレハ レポート」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期のわが国経済は、新興国の経済成長により輸出が堅調に推移し、個人消費も持ち直しの動きがあり、化学業界においても回復基調がみられましたが、東日本大震災により状況が急変いたしました。

当社グループはこのような状況のもと、既存事業の売上げ増による利益拡大、機能製品事業分野を中心とした設備投資による償却費増に対処すべくコスト削減に取り組まれました。その結果、当期の連結売上高は1,323億9百万円、営業利益は63億50百万円、経常利益は56億38百万円となりました。当期純利益は、東日本大震災により、いわき事業所、樹脂加工事業所、一部のグループ会社で操業停止を余儀なくされ、震災に伴う災害損失33億72百万円を計上し、6億92百万円となりました。

なお、当期の配当金は、当初予定の通り、1株につき年間10円とさせていただきます。

2011年度は、東日本大震災の影響を受け、消費低迷、為替・株式市場の変動、原燃料価格の高騰など、厳しい事業環境が継続すると予想されます。当社グループは、「中期経営計画GROW GLOBALLY」で掲げるCSR（企業の社会的責任）に基づく事業運営と「競争優位にある既存事業の強みを伸ばしながら新規事業を育成・拡大する」とした事業戦略を着実に強化・推進し、企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年6月



代表取締役社長
岩崎 隆夫

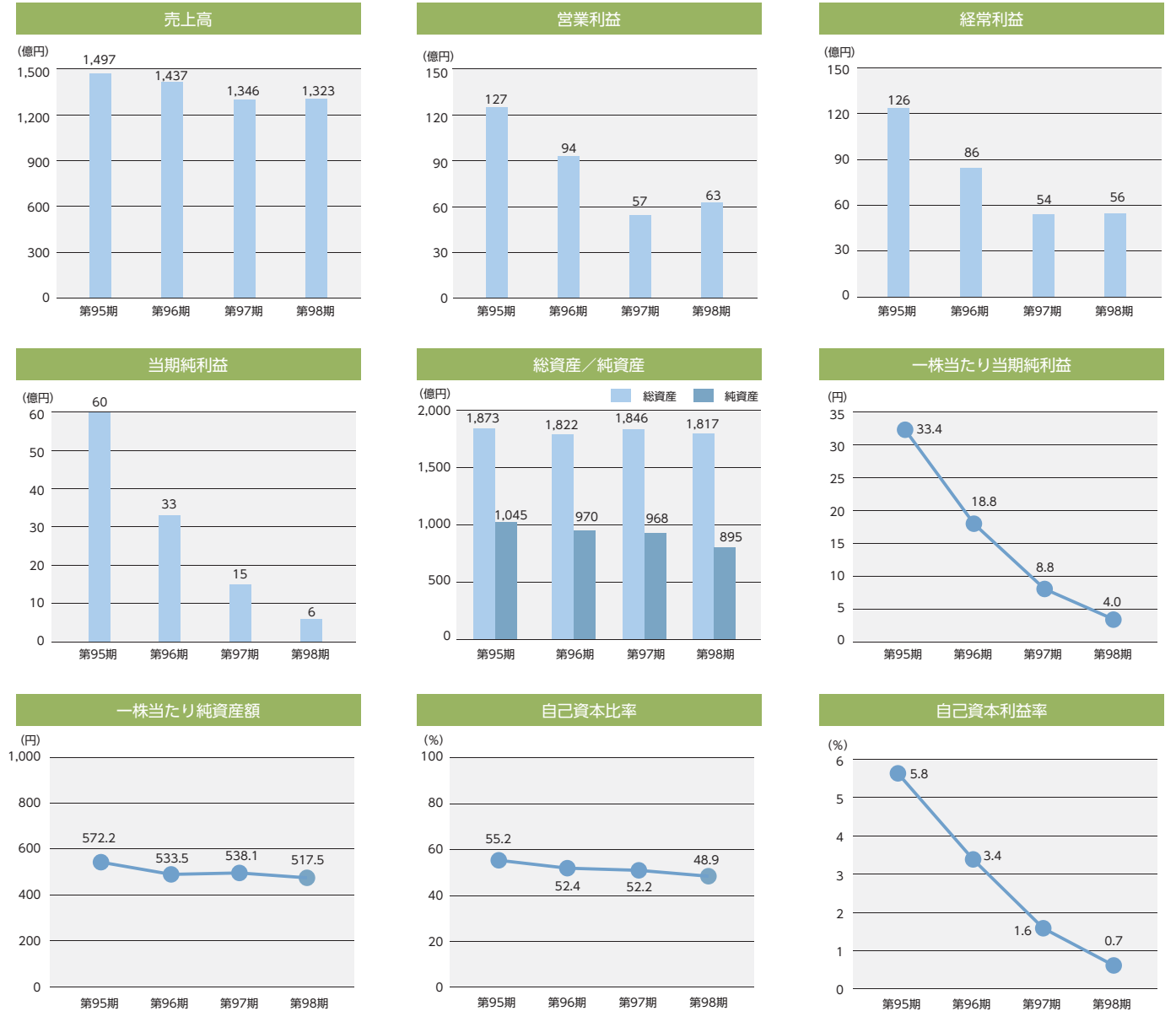
東日本大震災後の取組み

当社グループは、東日本大震災およびいわき市を震源とする余震により、生産設備に被害を受けましたが、業務の停滞を最小限にすべく、全力で生産設備の点検と修繕を実施し、順次生産を再開してきました。

今後も関係各位のご支援とご協力をいただきながら、安定的に原燃料を確保し製品を供給していくとともに、企業の社会的責任を果たすべく、地域社会と連携し、被災地の復興にも取り組んでいきます。

なお、被災された皆様への支援や被災地の復興に役立てていただくため、日本赤十字社を通じて3千万円、当社の主力工場が立地するいわき市に2千万円を、義援金として寄付いたしました。

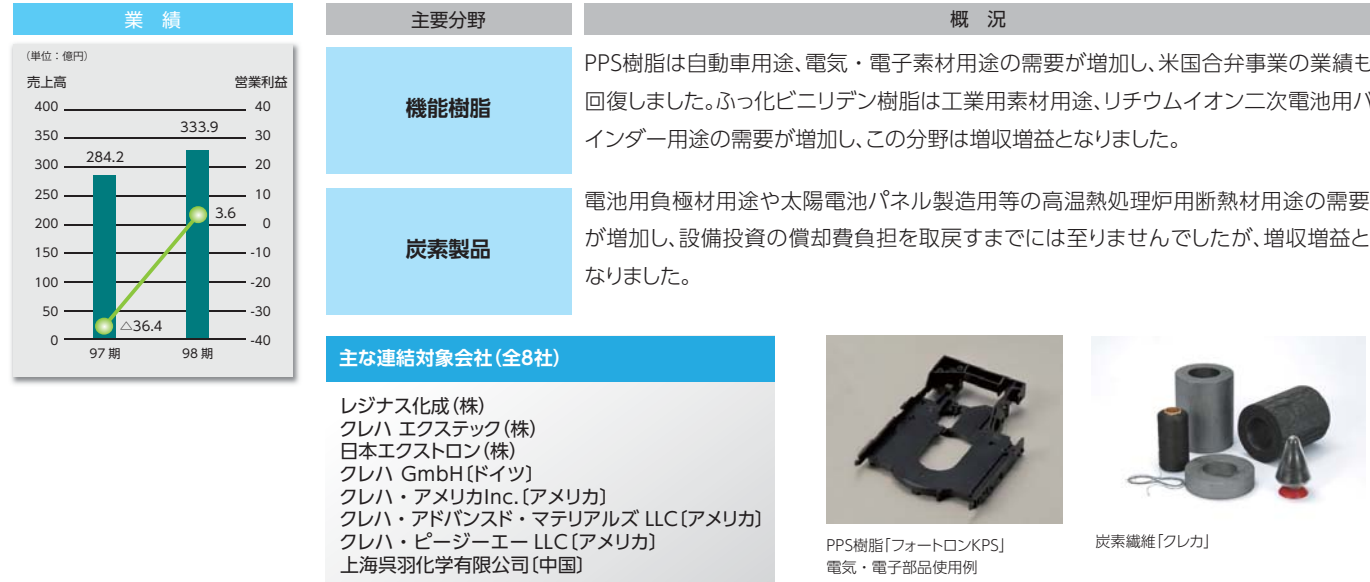
財務ハイライト



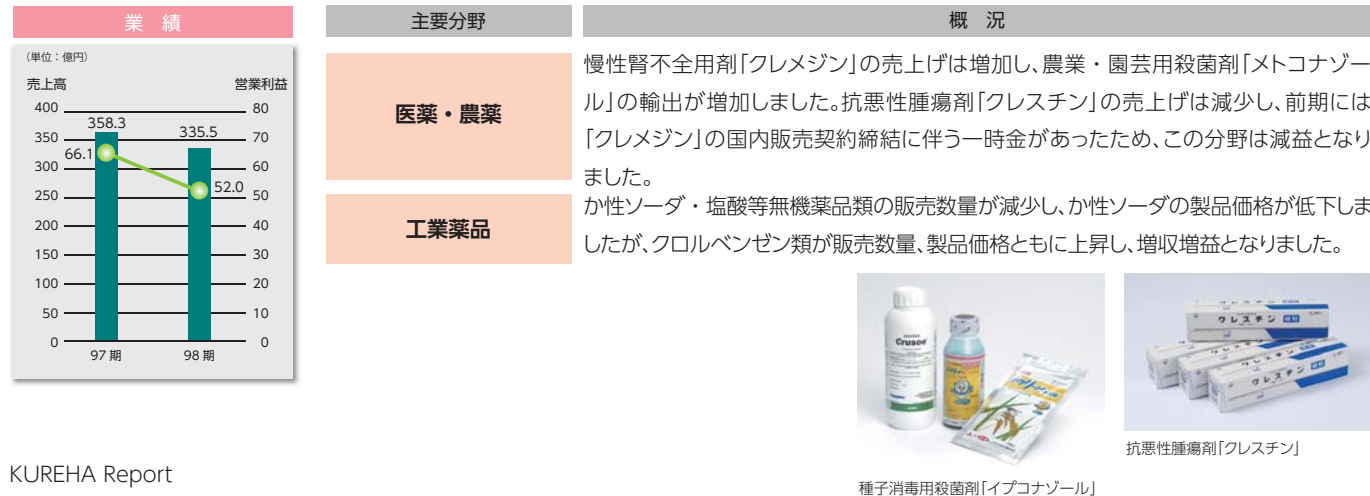
セグメント別営業概況

■ 売上高 ● 営業利益

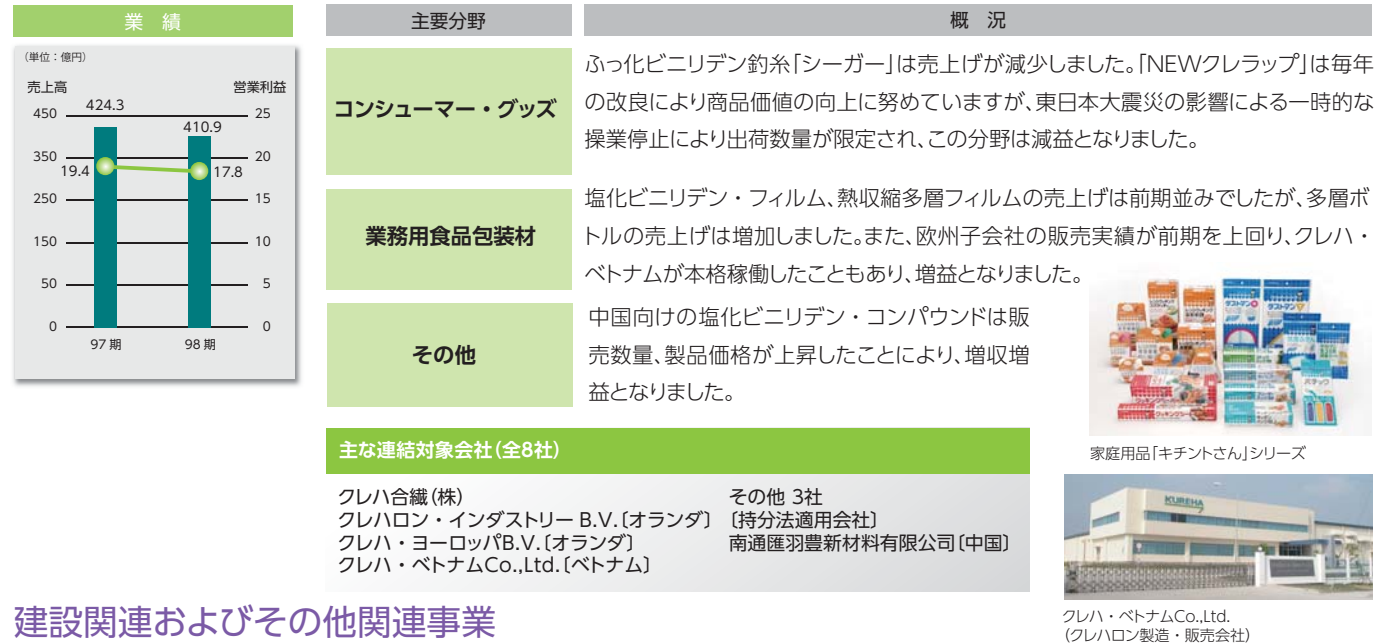
機能製品事業



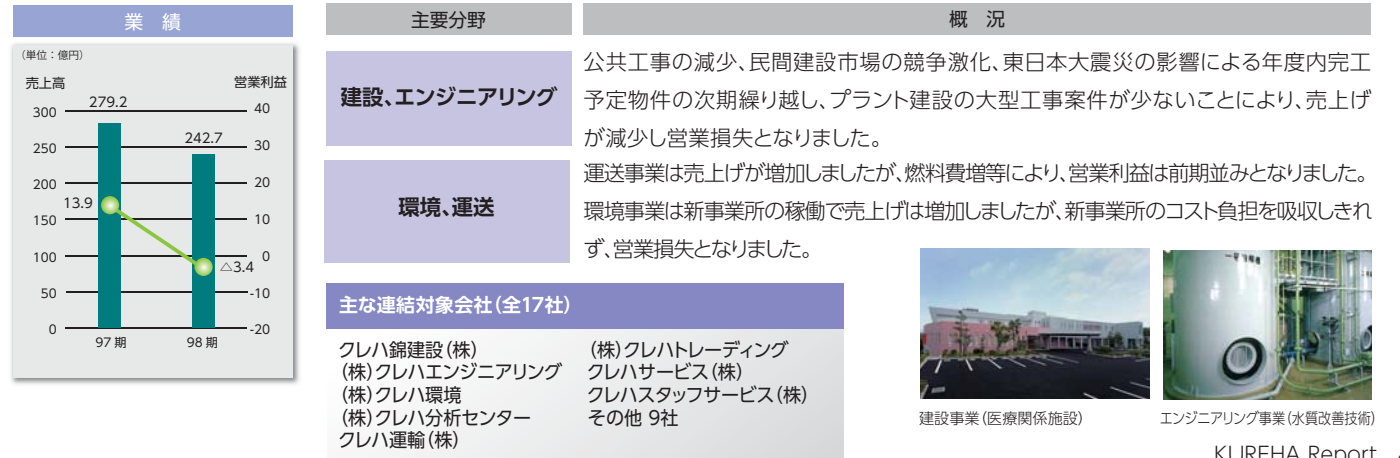
化学製品事業



樹脂製品事業



建設関連およびその他関連事業



2011年6月24日
 東京都中央区日本橋浜町 3-3-2
株式会社クレハ
 代表取締役社長 岩崎隆夫

第98回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月24日開催の第98回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

敬 具

報告事項

- 第98期(2010年4月1日から2011年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第98期(2010年4月1日から2011年3月31日まで)計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 取締役9名選任の件
 本件は、原案のとおり承認可決され、岩崎隆夫、萩野弘二、鈴木直哉、宗像敬吉、小林 豊、佐川 正、須能則和、斉藤邦彦、高橋 武の9名が再選、重任いたしました。
- 第2号議案 監査役2名選任の件
 本件は、原案通り承認可決され、清輔洋一、北村 大の2名が新たに選任、就任いたしました。
- 第3号議案 補欠監査役1名選任の件
 本件は、原案通り承認可決され、松尾 眞が再選、重任いたしました。

利益配分方針

利益を向上させ、資産効率を高めることにより企業価値を向上させることが株主の皆様の利益につながるものと考えています。利益の配分については、業績変動の影響はあるものの、安定的・継続的な配当を実施することが肝要であり、その上で企業体質の強化・将来の事業展開に備えた内部留保に充当することを基本方針としています。

1株当たりの配当金

	95期	96期	97期	98期
中間	5	5	5	5
期末	5	5	5	5
年間	10	10	10	10

(円)

40th Anniversary
 Innovating Since 1971
Seaguar

“強さ”と“しなやかさ”を追い続けて40年 フロロカーボン釣糸「シーガー」

1971年に世界初のフロロカーボン製釣糸として発売された「シーガー」は、2011年4月に誕生40周年を迎えました。糸の強さ、水に近い屈折率、豊富な品ぞろえなどが、釣りのプロや愛好家の方々に好評を博し、ハリス分野のトップブランドとして愛用されています。

釣糸に求められるもの、それは“強さ”と“しなやかさ”。クレハは異なる性質のフロロカーボンで釣糸を二重構造にすることを考案し、結び目、衝撃、さらに磨耗に対してより強い釣糸を生み出しました。また、研究を重ね、強度を維持したまま、しなやかさを実現する新技術「FNT (Flexible Non-twist) 製法」も開発しました。

長年培った紡糸技術や釣糸の原料であるフロロカーボンを自社で研究、製造しているノウハウを活かし、「シーガー」は進化し続けていきます。そして、釣りを愛する皆様の信頼とニーズに応えていきます。

「シーガー
 グランドマックスFX」



「シーガー エース」

現在

2003年



FNT製法によってしなやかさを実現
 「シーガー グランドマックスFX」

1997年



シーガーシリーズ最強レベルの結節強度
 「シーガー グランドマックス」

1983年



二重構造ライン
 「シーガー エース」

世界初のフロロカーボンライン
 「シーガー」



1971年

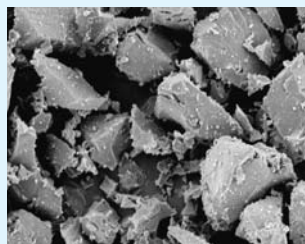
話題の素材・商品紹介

1991年、世界で初めて実用化されたリチウムイオン二次電池 (LiB)。その負極材、バインダー (接着材) として採用されたのが当社の特殊炭素材料「カーボトロンP」とふっ化ビニリデン樹脂「KFポリマー」です。リチウムイオン二次電池はパソコン、携帯電

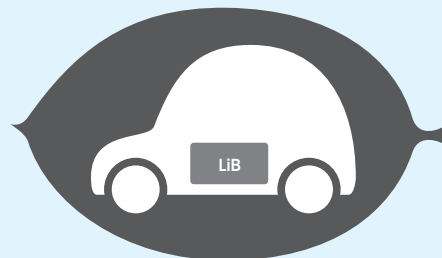
話など小型機器バッテリーとして、現在、私たちの生活に必要な不可欠な存在となっています。また、世界的な環境意識の高まりを背景に、電気自動車やハイブリッド車などの環境対応車の電池としても注目が集まっています。

高耐久性と優れた充放電特性 「カーボトロンP」

石油ピッチを原料とする活性炭製造技術をベースに、1991年に事業化。以来、その特徴である優れた入出力特性と高い耐久性を生かし、産業用大型LiBを中心に使用されてきました。現在、自動車および電池メーカー各社が車載用LiBの開発に注力する中、各社で「カーボトロンP」のテストが進められ一部で採用され始めています。



負極材「カーボトロンP」(拡大写真)



長年培った高分子ポリマー技術が新産業を支える 「KFポリマー」

1970年に日本で初めてふっ化ビニリデン樹脂の工業生産を開始しました。「KFポリマー」は、耐薬品性や電気的特性などの優れた性能と汎用樹脂並の成形加工性を持ち、携帯電話やノートパソコンなどの民生用小型LiBに用いられるバインダーとして長年の実績があります。車載用LiB用途や電力用定置型電源用途などの大型LiB向けにも需要拡大が見込まれています。



バインダー「KFポリマー」

今年も「NEWクレラップ」のパッケージをリニューアル

8年連続のリニューアルとなる今年は、ユニバーサルデザインを意識した改良を行いました。フィルムをよりつまみ易くするために「つまめるフラップ」を大きくし、クルリちゃんファミリーのイラストを描き、フィルムの切り方やプラスチック刃の分別について解説しています。「いちばんうれしいラップになる。」を基本コンセプトに、お客様からお寄せいただくご意見に真摯に耳を傾け、商品づくりにつなげています。



CSR活動

「中期経営計画 GROW GLOBALLY」において、CSR(企業の社会的責任)の考え方に基づいた事業運営を行っています。

企業基盤

リスク・マネジメント

「内部統制システムの基本方針」に基づき、事業活動に伴い発生するリスクを分類し、リスク・マネジメント委員会、レスポンシブル・ケア委員会、情報統括委員会の各委員会がリスク管理を行う体制をとっています。

東日本大震災の際には、災害発生時の危機管理対応を定めた社内「非常事態対応規程」に基づき、地震発生直後に本社および現地(いわき事業所)に災害対策本部を設置し、連携を取りながら緊急対策を進め、復旧に注力しました。

リスク・マネジメント委員会

リスク管理

レスポンシブル・ケア委員会

情報統括委員会

社会性報告

医療での社会貢献

呉羽総合病院は、当社の附属診療所として1944年に開設し、1972年に社団医療法人呉羽会「呉羽総合病院」として独立しました。現在では、いわき市南部の中核病院として広く県内外からの来院も増えました。

2008年3月には介護老人保健施設「ガーデニア」を開設し、「安全と安心」をモットーにした介護サービスの提供を心がけています。

東日本大震災時には、医師、看護婦、職員が泊り込みで医療活動の継続に努めました。また、医師会と連携し、避難所への支援も行いました。



介護老人保健施設「ガーデニア」



呉羽総合病院

レスポンシブル・ケア活動

労働安全衛生に対する取組み

いわき事業所では、グループ会社・協力会社とともに保安防災・労働安全に対する意識の高揚に努め、一丸となって労働災害、事故の撲滅に取り組んでいます。その取組みの一環として、危険を疑似体験できる技能研修センターを2005年11月に開所し、今年で6年となります。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前期(第97期) 2010年3月31日現在	当期(第98期) 2011年3月31日現在
資産の部		
流動資産	65,571	64,161
固定資産	119,052	117,591
① 有形固定資産	81,794	83,917
無形固定資産	1,030	868
投資その他資産	36,227	32,805
② 資産合計	184,623	181,753
負債の部		
流動負債	48,433	49,051
固定負債	39,367	43,200
負債合計	87,801	92,252
純資産の部		
株主資本	93,655	89,310
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	9,948	9,456
利益剰余金	72,500	71,935
自己株式	△1,253	△4,542
その他の包括利益累計額	2,764	△477
新株予約権	54	64
少数株主持分	347	603
純資産合計	96,822	89,500
② 負債・純資産合計	184,623	181,753

- ① 有形固定資産
海外を含む高水準の設備投資が、減価償却費を上回りました。
- ② 資産合計／負債・純資産合計
株価・為替・自己株式買取請求・震災等の外部要因により、減少しました。

(単独の財務諸表は、当社 Web サイト、「TOP ページ」→「投資家情報」→「IR 資料室」→「有価証券報告書」をご参照ください。)

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前期(第97期) 2009年4月1日から 2010年3月31日まで	当期(第98期) 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
売上高	134,606	132,309
売上原価	100,648	98,674
売上総利益	33,958	33,634
販売費および一般管理費	28,251	27,284
営業利益	5,706	6,350
営業外収益	1,481	1,331
営業外費用	1,688	2,043
経常利益	5,499	5,638
特別利益	715	708
特別損失	2,749	4,590
税金等調整前当期純利益	3,465	1,757
当期純利益	1,571	692

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前期(第97期) 2009年4月1日から 2010年3月31日まで	当期(第98期) 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	15,847	12,509
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,682	△11,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,999	2,720
現金および現金同等物に係る換算差額	△261	△264
④ 現金および現金同等物の増減額(△は減少)	△97	3,532
現金および現金同等物の期首残高	7,264	7,213
新規連結に伴う現金および現金同等物の増加額	45	—
現金および現金同等物の期末残高	7,213	10,746

- ③ 営業キャッシュ・フロー
当期の減益に加えて、前期計上・当期支払の税金が増加しました。
- ④ 現金および現金同等物の増減額
緊急時に備えて、手元流動性の確保に努めました。

会社概要／株式の状況

会社の概要 (2011年3月31日現在)

商号 株式会社クレハ
 英文社名 KUREHA CORPORATION
 本店 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
 設立 1944年6月21日
 資本金 12,460百万円
 グループ従業員数 4,078名(単独：1,626名)
 支店 大阪支店
 営業所 名古屋営業所、福岡営業所、仙台営業所
 事業所 いわき事業所(福島県いわき市)
 樹脂加工事業所(茨城県小美玉市、兵庫県丹波市)
 研究所 総合研究所(福島県いわき市)
 生物医学研究所(東京都新宿区)
 加工商品研究所(茨城県小美玉市)

取締役・監査役・執行役員 (2011年6月24日現在)

代表取締役社長 岩崎 隆夫
 代表取締役専務執行役員 萩野 弘二
 代表取締役専務執行役員 鈴木 直哉
 取締役専務執行役員 宗像 敬吉
 取締役常務執行役員 小林 豊
 取締役常務執行役員 小佐川 正
 取締役常務執行役員 須能 則和
 独立社外取締役 斉藤 邦彦
 独立社外取締役 高橋 武

常勤社外監査役 平野 恭昌
 常勤監査役 阿久根 豊
 常勤監査役 清輔 洋一
 社外監査役 北村 大

常務執行役員 紫垣 由城
 常務執行役員 福沢 直樹
 常務執行役員 中谷 秀雄
 常務執行役員 松尾 修介
 執行役員 蛭田 宣行
 執行役員 渋谷 幸広
 執行役員 山本 孝士
 執行役員 小口 義春

株式の状況 (2011年3月31日現在)

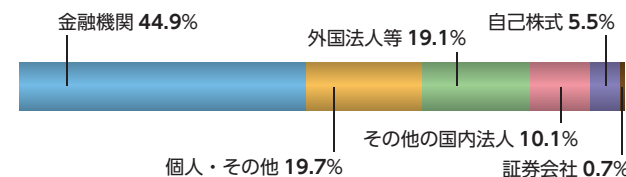
発行可能株式総数 600,000,000株
 発行済株式の総数 181,683,909株
 株主数 16,075名

大株主の状況 (2011年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	出資比率(%)
明治安田生命保険相互会社	13,746	8.0
東京海上日動火災保険株式会社	12,112	7.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,969	6.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,180	4.8
オーエム04エスエスピークライアントオムニバス(オーストラリア)	6,075	3.5
第一三共株式会社	5,830	3.4
ジュニパー(サウジアラビア)	4,170	2.4
株式会社みずほコーポレート銀行	4,000	2.3
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,787	2.2
みずほ信託銀行株式会社	2,664	1.6

注) 当社は自己株式10,017千株を保有しておりますが、上記大株主から除いています。また、出資比率は自己株式を控除して計算しています。

株式の所有者別構成比 (2011年3月31日現在)



株価の推移

